

七福神ごりやくスタンプ村 ファミコンソフト

き き か い か い

# 奇々怪界

BISHAMONTEN

テレビで出来る。

DAIKOKUTEN

怒 濤 編

BENZAITEN

家内安全・家庭円満、

FUKUROKUJU

七福神めぐり

JUROJIN

HOTEI

EBISU

TAITO CORPORATION

DISK SYSTEM  
ファミリーコンピュータ ファミコン

TAITO

七福神ごりやくスタンプ村 ファミコンソフト

き き か い か い

# 奇々怪界

MIKI ITO

怒 濤 編

©TAITO CORP. 1987 TFD-KIK



ご注意とお願い

このたびは、当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。品質管理には万全を期しておりますが、万一お気付きの点がございましたら、中央技術サービスセンターまでお問合せ下さい。

なお、お問合せの際は、住所、氏名、電話番号、本製品の名称、購入場所、年月日も必ずお知らせ下さい。

発売元 楽・し・さ・を・演・出・す・る  
株式会社 タイト  
本社：東京都千代田区平河町2-3 2203-264-8811(大内) 102

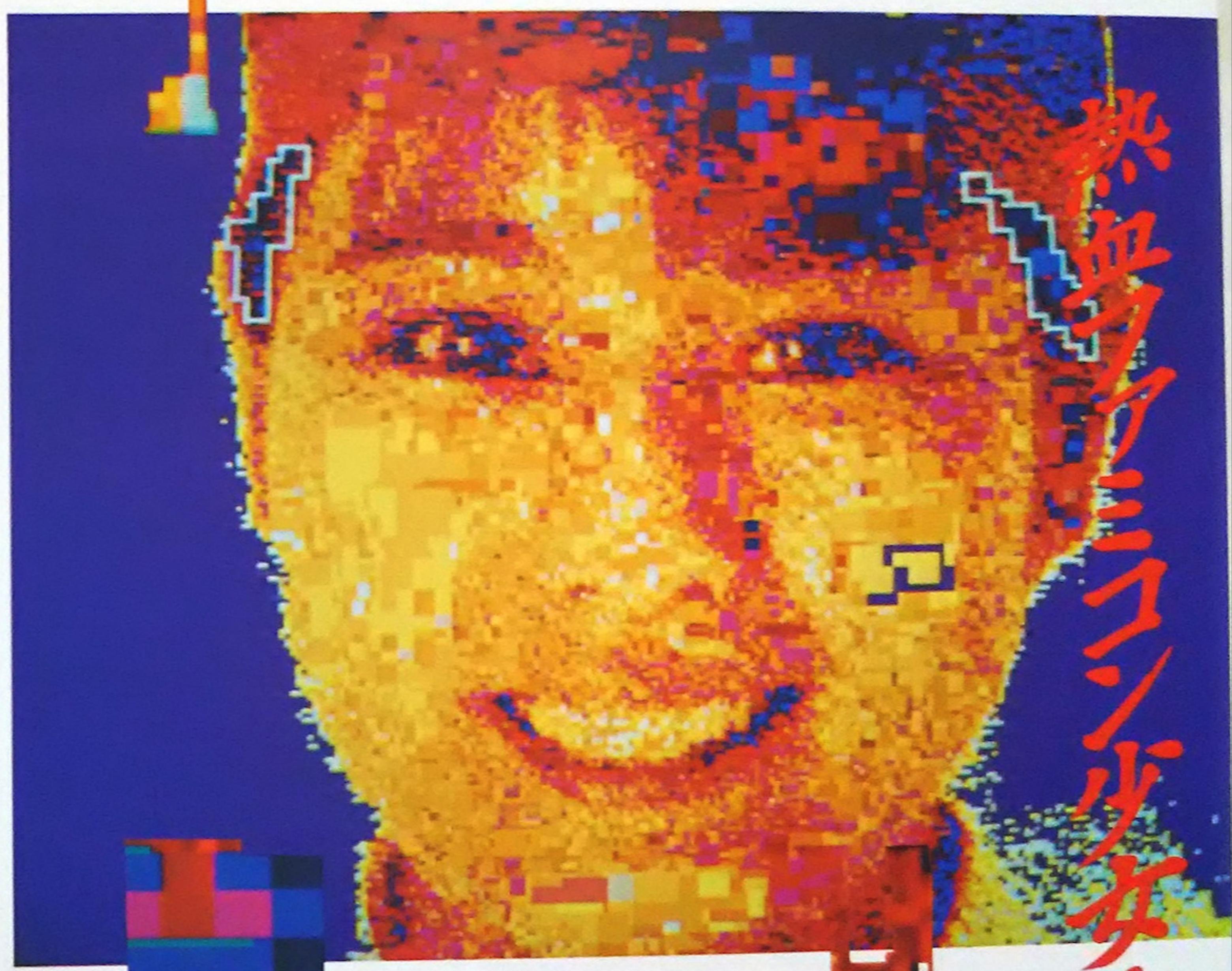
ファミリー コンピュータ・ファミコンは、任天堂の登録商標です。

パッケージ台紙(説明書)のオモテ

ウラ

※レコード台紙サイズの説明書なのでスキヤナよりも巨大。  
このため携帯電話のカメラ機能で撮影した画像と併用。

熱血ファミコン少女・伊藤美紀。



「フタバ、伊藤美紀。奇々怪界なこの世に生まれた、熱血ファミコン少女。」

ゲームの中でもどろせましと、元気いっぱい走りまわりマス。

この「奇々怪界—怒濤編」のタイトルバックに流れる曲は、

「私のニューシングル「哀愁ピュセル」のB面に入った

「小夜カーニバル」という曲。

ファミコンキャラの美紀も、レコードの美紀も、  
めいっぱい応援してくださいね。

(伊藤美紀)

Melody Girl



# 奇々怪界

二  
へん

序章

三

しかし人間が生きる所には、  
皆生者があつたのです。  
人を殺す事は、必ずしもその者たちほ  
どもが心地悪く不幸に至る所の事だらうと  
思ひます。

物の持つ、とてつもなく豊かな世界といふことを、

作物は枯れ、食べるものもあつてほ  
りません。人をほどこしにう生えこむすと、人を失つてしまつたのです。  
が、その時、妖怪たちに  
驚かれて逃げたとき、  
隠れ家を眺む一人の少女が現れた。

アリ女は妖怪たちを次々と倒し、  
奇跡的にも七福神を道士  
再び里がな世の中を取り戻してしまったのである。  
それ以来、そのアリ女は少女として

見立者は誰一人おらず  
たたかぬたけ「小夜の古の風元」れたらどうです。

A close-up photograph of a red and white striped fabric, likely a flag or banner. A red arrow points upwards from the left side towards the top center of the frame.

人々がまとも福の神々の元へと歸る  
時、主に一通し七福神たる  
より、奇ひは紙幣たちによつて運ぶ  
事

昔をとじて奉公のかなたから  
伝説の少女「十波」か  
もう一人の姫姫「美紀」が連れ  
初詣は、いよいよ始まる。

ブッシュミーラウオ

空手  
心

卷之三

# 奇幻怪界

# 2~4 ページ (見開き)

# 奇々怪界

怒濤編

## 「序章」

むかし、むかし。

人々は豊かな自然に囲まれ、

幸せに暮らしていました。

しかしそんな豊かな幸せをねたみ、

憎む者がいたのです。

人々を貪しく不幸にするその者たちは、

日本中の妖怪たちを操り、

福の神々・七福神を闇の世界へと

封じ込めてしまつたのでした。

じンボーガニ

たちまち世の中は天変地異が群発し、

作物は枯れ、食べるものもなくなり、

人々はどう生きるすべを失つてしまつたのです。

か、その時、妖怪たちに

闘いを挑む一人の少女が現れた。

その少女は妖怪たちを次々と倒し、

奇跡的にも七福神を救出。

再び豊かな世の中を取り戻してくれたのでした。

それ以来、その少女は姿を消し、

見た者は誰一人おらず、

ただ名前だけ「小夜」と言い伝えられたそうです。

ケチザル

# 奇々怪界

巻 潤 編

# ブシヨーワオ

4 ページ

時は現代。豊かな時代に  
終りを告げるかのよう、吹きあれる不況の嵐。  
人々はまたも福の神々の元へと救いを求めたが、  
時すでに遅し。七福神たちは  
再び奇妙な妖怪たちによつて連れさらばれた後だつた。  
荒涼とした魔窟のかなたから、  
伝説の少女「小夜」が  
もう一人の救世主「美紀」を連れ、いま甦る……。  
物語は、ここから始まる。



# 「甦る、暗黒の章」

東京。多くの人々であふれるこの都市も、遠い過去にはけしてそのようなものではなく、おびただしい妖氣あふれる、ただ淋しいばかりの土地であつた。人々がこの妖氣を忘れ去つた頃、ぼつりと生まれた神の社も、今ではすつかり姿を変え、小さな軒下地蔵として、ひつそりと、何処かに在る。

昭和46年。この地蔵のもとに捨てられた少女と傷のはげしい一編の古文書が、この世を救えし者となるなど、誰が想像できただであろう。少女の名は、小夜。それはそれは美しい少女。またその古文書は、彼女の顔には似つかわしくない「神々の暗黒く妖魔の封印」<sup>カミガミのアンコク</sup>というもので、中程の章が何者かによつて抜き取られた闇の物語であつた。その主人公が、やはり「小夜」という名前なのである。

古文書によると、小夜は美紀なる同い年の妹を持ち、闇に閉じ込められた福音の神々・七福神を奇跡的にも助け出したとある。

また、この二人の少女には、御札と御祓い棒による靈能力が生まれながらに備わり、自らも闇の中で成長すると記されている。

いま、再び古文書と供に甦る二人は、都市を中心病んでいる日本を救えるであろうか。敵なりし者、あるいは身方なりし者を知るために古文書から抜粋した事の真実は、筆者にもわからぬ。そして古文書の抜き去られた第三章に至つては、大きな何かがあるらしいが、今となつてはもう誰一人、知るものがいないのである。





四 次元迷路の闇の世界に閉じ込められた七福神。そなたはこの福の神々を救い出すため、七福神それぞれの神にまとわりつく妖怪を倒さねばならない。そして、福の神々の力を借り、貧乏界にある貧乏神三人衆を倒した後には、再び豊かな時代が訪れるであろう。

身のこなしを磨く、それこそが闇の第一歩である。  
『コントロール』

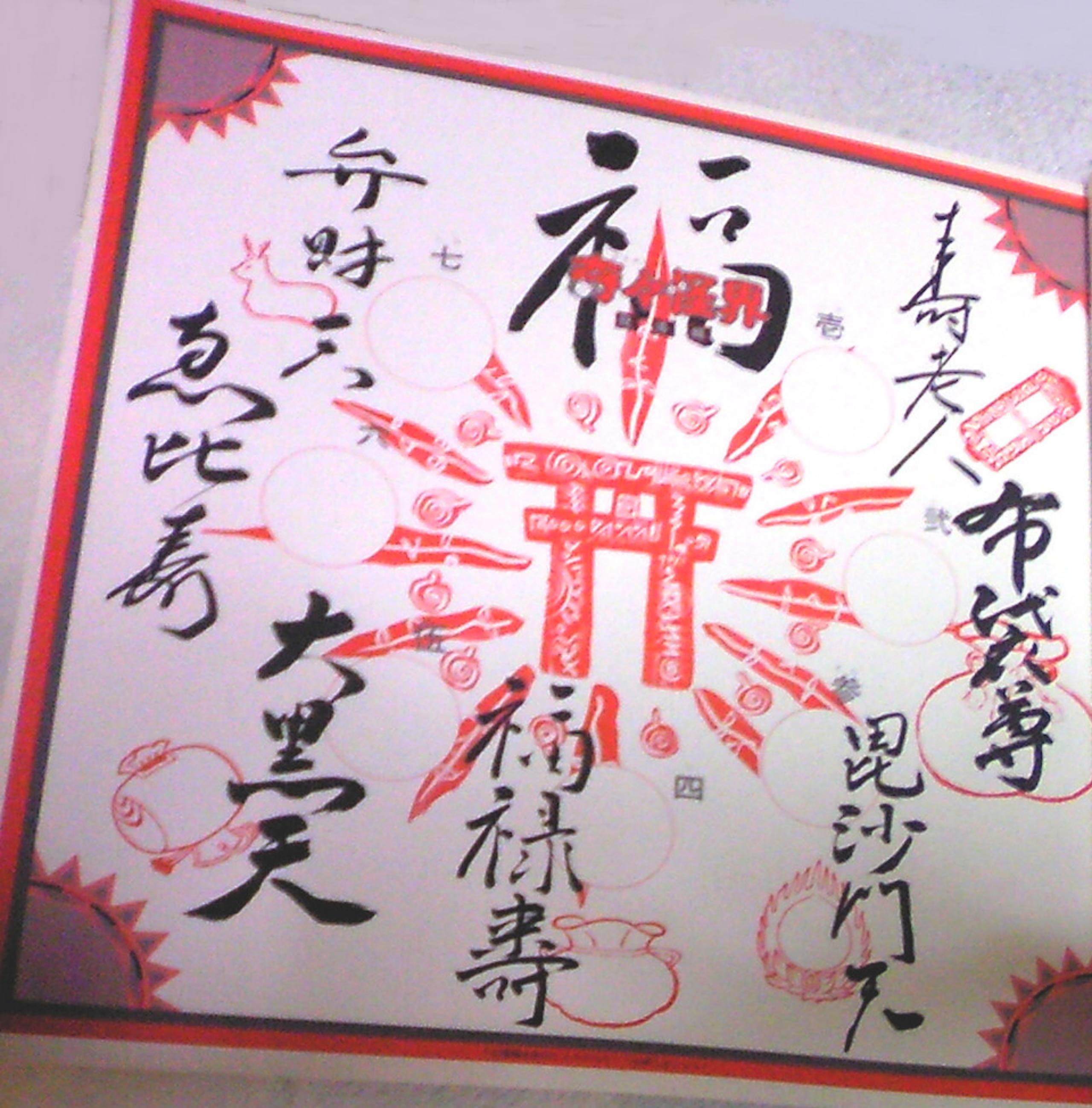
多くの妖怪や迷路を乗り越えた後、じつにそのための極意の伝承。貧乏神三人衆を倒すのだ。貧乏神三人衆を倒した後には、ここにそのための極意の伝承。

妖怪どもを倒し、自らも力を蓄え、迷路の何処かにある鳥居を探し出せばよい。その奥に潜む大妖怪を倒すことで、福の神々・七福神は救われるであろう。また、神々みなを救鍛錬を怠ることなかれ。

十字コントローラー 小夜(美紀)の8方向の移動が可能。  
⑧=御札を投げる。

妖魔とも倒し、自らも力を蓄え、迷路の何処かにある鳥居を探し出せばよい。その奥に潜む大妖怪を倒すことで、福の神々・七福神は救われるであろう。また、神々みなを救鍛錬を怠ることなかれ。





奇人怪界

卷之二

# 11~12 ページ

# 「奇々怪界」

## 裏話編

アーケードゲームからの久々のファミコン化。和風お化けのかわいいキャラとストーリーで、昨年大ヒットを飛ばした「奇々怪界」が、いよいよパワーアップしてファミコンソフトになつた。ゲームの中のお芸ちやんのように首を長くして待つてた諸君、本当におまたせ。

しかし、思いおこせばこのファミコンソフト「奇々怪界—怒濤編—」には、様々な苦難と苦悩と、挫折がごちゃまんどあつたものだ。そこでこの場をかりて、このファミコンソフト「奇々怪界—怒濤編—」の完成・発売に至るまでの荊棘の道を、ある担当者の日記をかりてご紹介し、エピローグとさせていただくことにする。

61年12月○日

プログラマーとの打ち合わせがあつた。日頃の超ハードワークが隠せない〇氏。彼の表情は、笑つてゐるのか泣いてゐるのか、よくわからない。そして、まだ彼は、これから始まる打ち合わせの内容やスケジュールについて何も知らされていなかつたのである。疲れを隠そと、妙に明るいギヤグの連発。しかし、話しが進むにつれ、プログラマーの〇氏は、次第に事の重大さに気付き、その表情に無数の暗雲を広げていつた。私達スタッフの中から、ほつりと漏れた一言『また一人、この世を去るのか』。という言葉が頭から離れない。明日は、我が身かも知れないのである。

62年3月○日

プログラムを開始してから二ヶ月の月日が流れた。〇氏から連絡が入り、プログラムの第一段階が終了したこと。とりあえず見に行くと、パソコンのキーボードをながめては、へラへラと笑いつづけている〇氏の姿をそこに発見。彼とコンビを組んでいるK氏が我々に近づき、こうさやいた。『あいつはキーボードを見つめながら歌を唄い出すと本調子。大丈夫、彼なられます。』と。彼の歌が聞えはじめた。我々一般人には越えられない何かを感じる。ちなみに彼の歌とはこのような歌であったと思う。『雨♪、雨、降れ、降れ、かあさん♪…♪』。なんとしつとりしたい曲ではないか。

62年4月○日

タイトーフアミコンギヤル決定の日。沢山の女の子から選ばれたのは、伊藤美紀ちゃん（グフフフ）。小悪魔的な表情、アイドルとしての才覚。ほとんどオジサン組の私も、彼女をしつかりチエツクしていた。そう、私は根っからの宣伝マンである。午後3時。「奇々怪界—怒濤編—」の2PLAYER側のキャラに彼女を採用することになった。すぐにP

ログラマーの〇氏へTEL。しかし、電話の向う側からは、「アソーさん、おーはなが♪…♪」と一歌だけが静かに聞えてくるだけだった。彼は新しい曲を覚えたらしく。

62年5月○日

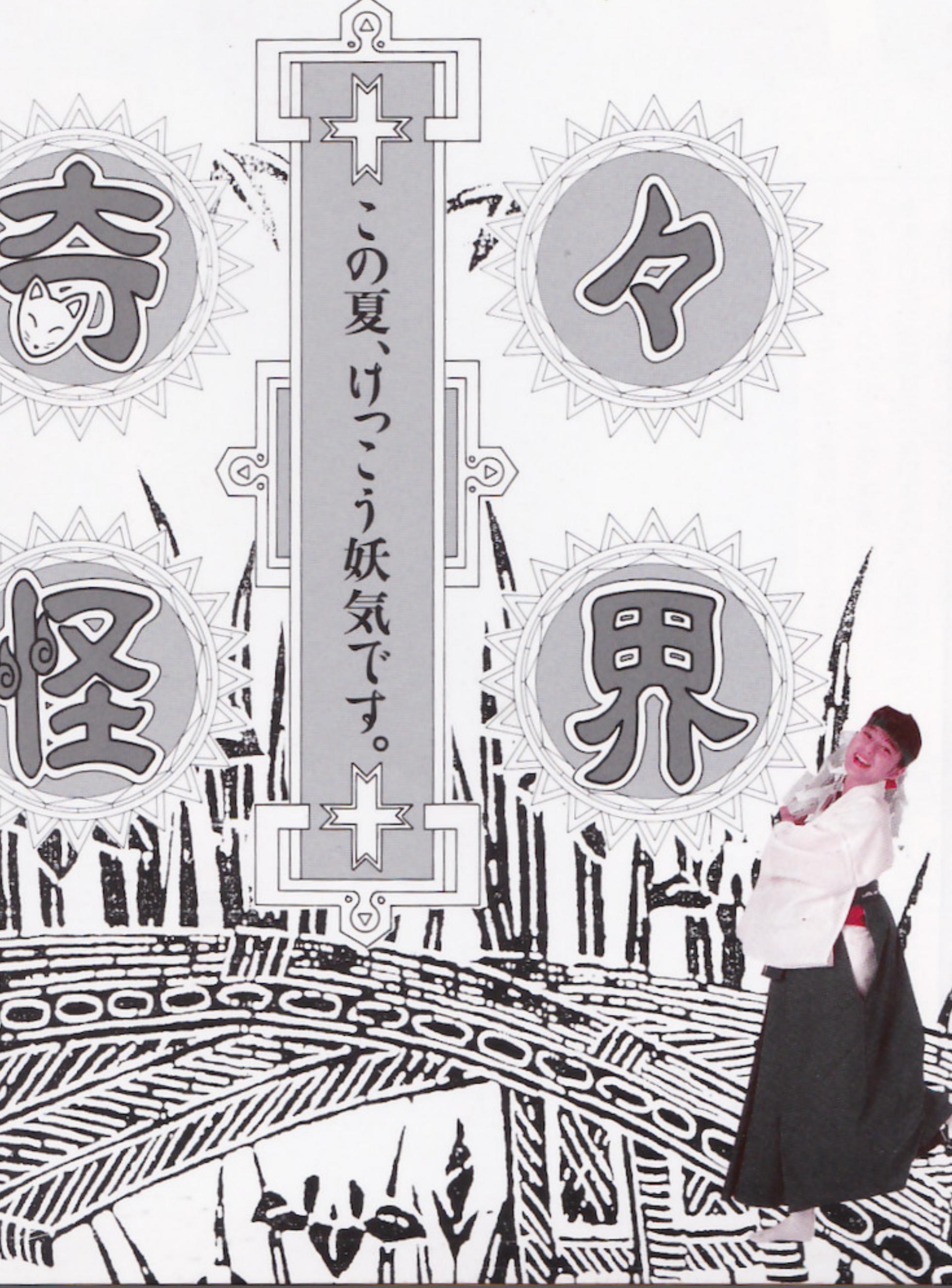
山手線「恵比寿」駅前のEスタジオにて。伊藤美樹ちゃんの撮影があつた。彼は新しい曲を覚えたらしく。

62年6月○日

遂にファミコンソフト「奇々怪界—怒濤編—」が完成した。プログラマーの〇氏は、ホウキに股がり新宿へ走り去つたという。また、彼とコンビを組んでいたK氏も、昨晩頭にローソクを立て、一心不乱に何やら祈つていたという。

完成されたファミコンソフトは、アーケードゲームのパワーを超えた充実ぶり。四次元迷路で、ヒロインの小夜ちゃん・美紀ちゃんが、どころせましと飛び跳ね、新キャラも続々と登場してしまった面白さ。さらに、ゲームの中でアリガターアイセフ神めぐりまでできてしまふのである。

私たちには、そう思うことにした。早朝の大都会は、今日も妖しく私達を向てくれる。



金財

恵比寿

大黒天

不<sup>い</sup>間<sup>ま</sup>寺<sup>てら</sup>

七福神<sup>しきふじん</sup>  
金剛力士<sup>こんごうりきし</sup>  
毘沙門<sup>びしゃもん</sup>  
毘沙門天<sup>びしゃもんてん</sup>  
大黒天<sup>だいごくてん</sup>  
恵比寿<sup>えびす</sup>  
不<sup>い</sup>間<sup>ま</sup>寺<sup>てら</sup>

壽<sup>す</sup>老<sup>ろう</sup>

市<sup>いち</sup>次<sup>じ</sup>第<sup>だい</sup>一<sup>い</sup>番<sup>ばん</sup>

毘沙門<sup>びしゃもん</sup>

七福神を助けたらそのスタンプを押しましょう！

12 ページ (拡大)